

# 令和6年度入学生用カリキュラムマップ

【薬学研究科 薬科学専攻 博士後期課程】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 △ディプロマ・ポリシー達成のため望ましい科目									
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3
24DHBS1101	論文作成研究Ⅰ	1	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、博士論文として発表することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	△	△
24DHBS1102	論文作成研究Ⅱ	1	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、博士論文として発表することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	△	△
24DHBS2101	論文作成研究Ⅲ	2	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、博士論文として発表することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	△	△
24DHBS2102	論文作成研究Ⅳ	2	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、博士論文として発表することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	△	△
24DHBS3101	論文作成研究Ⅴ	3	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、博士論文として発表することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	△	△

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 △ディプロマ・ポリシー達成のため望ましい科目									
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断		4. 態度・志向性	
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2					
24DHBS3102	論文作成研究VI	3	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、博士論文として発表することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	△	△
24DHBS1201	先端薬科学演習	1	医薬品・化粧品・健康食品の創製および開発に貢献するため、学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、研究課題を完成するため、適切な実験・評価方法を応用して積極的に調査・実験に取り組み、その結果を分析し発表できることを目的とする。	1) 研究課題の周辺領域の情報収集を積極的に行い、自身の研究課題に活用する。 2) 研究課題について教員と十分に情報交換をし、適切な実験とその結果に関する評価を行うことができる。 3) 基本的知識・技能・態度を修得し、研究課題について学会等で発表できる。	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	△	△
24DHBS1301	先端応用薬科学演習	1	臨床現場で見出した課題に基づき、関連した研究論文を詳細に調査する。確定した研究課題について、適切な調査方法・評価方法を用いて積極的に研究を継続し、成果・課題をまとめるとともに、研究結果の解釈を正しく行う。その内容を発表し質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題に関する成果が関連領域に及ぼす効果について説明できる。 2) 研究課題を進捗させる上で生じる問題点について具体的な解決策を提案できる。	◎	◎	◎	△	△	△	◎	◎	○	○